

《定時制》後期中間考査

全日制と定時制では11月24日（火）から11月30日（月）まで5日間の後期中間考査が行われました。学年制の高校に比べて単位制の本校は、上の学年になると選択科目が多くなり（定時制は一部の学科）、他校に比べて考査の日数が長くなっています。したがって、生徒の皆さんは、考査に向けた学習の期間も長くなり大変ではないかと思っています。

定時制では普通科と情報科学科（情報処理コース）の3年生と4年生でA群からE群までの選択科目が用意されており（情報科学科（情報処理コース）はB群を除く）、生徒は興味や進路に合わせて自由に選ぶことができます。

11月27日（金）の夕方、教室を見て回ると、どのクラスにも勉強をしている生徒がいました。4年1組（普通科）ではこの日、1限目にA群、2限目にC群の考査が予定されており、生徒は1限目の地学基礎や地理Bの試験に向けて教科書を広げてしていました。日が落ちて、気温が下がり始める時刻、防寒具に身を包み、静かに自習をしている姿がありました。

《通信制》後期4回目の本校面接。レポート提出

11月15日（日）3限目、田川先生が生物基礎の授業をされました（写真2番目）。黒板に貼られたホワイトボードには「細胞」や「抗体」の文字があり、スクリーンに投影されたパワーポイントの図やグラフを先生が説明しながらペンでなぞると文字が青い太線で囲まれました。自学自習が基本である通信制は全日制や定時制に比べて、学校に登校する日数は限られており、面接（スクーリング）の進度が早くなります。生徒の皆さんは要点を押さえた授業に真剣に参加していました。

3連休明けの11月24日（火）、事務室に通信制の生徒の皆さんが投函したレポートが束になって届けられていました（写真3番目）。自宅で提出期限に間に合うようにレポート課題に打ち込んだ多くの生徒の皆さんの姿と、この後先生方がレポート一枚一枚に添削される姿が目に見えられました。

《全日制》11月6日「湧心祭」開催。持久走授業

「コロナに負けるな 時代を超えて ～マスクごしでも あふれる笑顔～」をテーマにして文化祭を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年是一般開放を取りやめ、保護者や地域の方には参加をご遠慮いただきました。この日に向けて1、2年生はクラスのパザーや出し物に取り組み、文化系部活動も遅い時間まで練習等に励んでいました。教科の企画の「音楽」選択者による「Music Bell & Violin」では見事な演奏を聴くことができました（写真4番目はバイオリン演奏「きらきら星」）。コロナ禍で様々な学校行事ができなくなっていますが、この日は久しぶりに生徒の弾んだ声が響いていました。

保健体育で持久走の授業が始まりました（写真5番目。11/19（木）撮影）。集団ではなく、自分が持っている力で、ペースを守って走っている姿があり、いつも良いなあと思いつつ声援を送っています。

